

# 春の大日岳縦走一馬場島へ行く

2002年春山情報14号

4 / 27 ~ 28

国内最高級テント、ダンロップVG-608（厳冬期6名用）を担いでえんやこら～。いつも重装備は私の役目。収納サイズが普通のザックの大きさ。奥大日岳でカミさんが記念撮影・・・背景は富山平野だが雲海でまったく見えず。GWとしては雪が少ない。雷鳥沢から立山を仰ぐ。

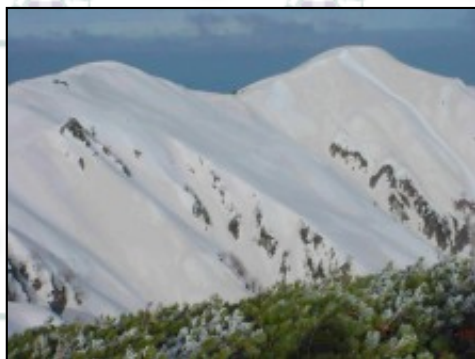


室堂乗越より意外と急峻な奥大日岳を望む。あいも変わらず雪庇が鋭いね。今宵の宿は「HOTEL奥大日岳」一夜限りの営業です。奥大日岳へと向かう斜面。ポーターのテントが一張りありました。

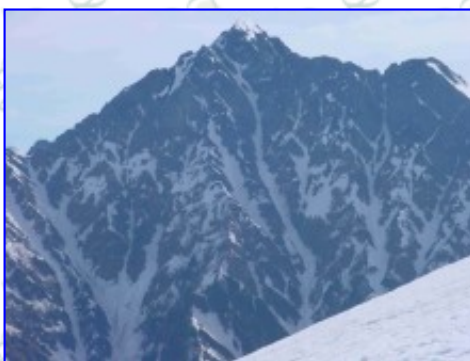


天国まで届く雪原・・・カミさん冬用幕営一式で脚が重たい。奥大日岳から大日岳を望む。この時・・・石坂先生の姿確認できず。コット谷で上部で発見した巨大ブロック痕。・・・これに巻き込まれたら・

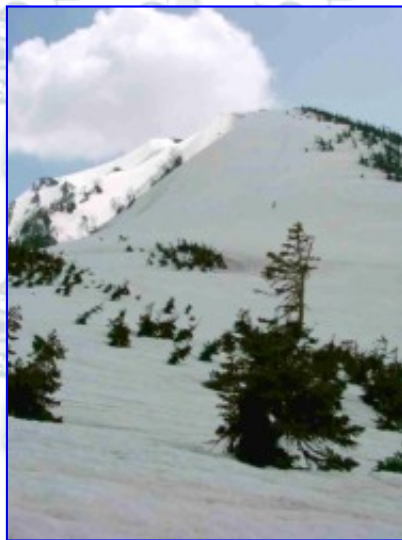




年間山行日数 80 日男・・・大平俊英。HOTEL 奥大日岳でわかったようにポーズ。かつて「平原を絶って聳え立つ巨峯・・・」と有名な句があったなあ。



AM 10:30 まだ大日岳が行きで埋まっている。七福園より下がるどころ。早乙女岳で一ノ頭方向を振り返ってみた。富山ハイキングの4名とすれちがう。



夫婦揃って雪の大谷でのんきに記念撮影・・・  
室堂から奥大日岳をバックにパチリ・・・地元北日本新聞の記者がきて山行のインタビューを受けた。  
掲載されていたのを下山後知った。  
1週間前に登攀したわが魚津市の名峰・・・毛勝山と釜谷山が遠望出来た。

